

このメールは「東京ガスの電気」をご利用の方へお送りしています。

=====

**【電力逼迫及び一部小売事業者の料金高騰の状況
と当社の電力料金形態と電源調達のお知らせ】**

=====

平素より「東京ガスの電気」をご使用いただき、誠にありがとうございます。

現在、国内の電力需給が逼迫し、一部の小売事業者の電気料金が急騰しています。そこで、本日は国内で起きている電力逼迫および一部小売事業者の料金高騰の状況、さらには、東京ガスの電力料金の形態と電源調達についてお知らせいたします。

■国内における電力需要逼迫の状況について

昨年12月末から続く厳しい寒さや火力発電所向けの液化天然ガス（LNG）の不足も重なり、日本卸電力取引所（以下、JEPX）の価格は急激に上昇しています。こうした状況を受け、一部の小売事業者で採用している「市場連動型プラン」で契約しているお客さまの電気料金が急騰するといった状況が発生しています。電力自由化後に登場した「市場連動型プラン」は、市場価格に連動し従量料金の単価が決定する仕組みです。市場価格とは即ちJEPXの電力取引価格であり、その価格の高騰が利用者の電気料金にそのまま反映されることとなります。

■東京ガスの電気料金の形態について

それでは、東京ガスの電気料金は大丈夫だろうかと心配になる方もいらっしゃると思います。ご安心ください、東京ガスの電気は「市場連動型プラン」の料金形態ではありません。東京ガスの電気料金の形態は、「従量電灯型」と呼ばれるもので、契約アンペア数に応じた基本料金および、ひと月に利用した電気の総量に応じた電力量料金を加算したもので決まります。なお、燃料費調整制度（※）に応じて電力量料金の単価は増減することがあります。

※燃料費調整制度について（当社ホームページより抜粋）

・東京電力などの地域の電力会社は、発電に使う原油・LNG・石炭の燃料価格が為替レートや市場の動きに変動するため、月々の電気料金に反映させる制度（燃料費調整制度）を採用しており、東京ガスの電気料金も、電力会社の電気料金との価格差が変わらないようにするため、ほぼ同等の変動を電気料金に反映させていただいております。

・燃料費調整制度のしくみを簡単に説明しますと、原油・LNG・石炭それぞれの3か月間の貿易統計価格にもとづき、毎月平均燃料価格を算定します。算定された平均燃料価格（実績）と、基準燃料価格との比較による差分にもとづき、燃料費調整単価を算定し、電気料金に反映しています。

■東京ガスの電源調達について

東京ガスは、新電力と呼ばれる小売事業者の中でも多くの「自社電源」を保有している事業者です。これまで東京ガスは、効率的かつ安定的な運営の実現を重視しながら天然ガスを利用した発電所の建設を推進してきており、その結果、東京ガスは市場価格の影響を受けない自社電源も保有し、調達価格安定化に努めています。

最後になりますが、朝晩を中心に厳しい寒さが続くことが予想される中、東京ガスの電気をご利用中のお客さまにおかれましても、寒波の中での暖房等のご利用はこれまで通り継続していただき、日常生活に支障のない範囲での照明やその他電気機器のご使用を控えるなど、電気の効率的な使用にご協力いただけますと幸いです。今後とも東京ガスの電気を何卒宜しくお願いいたします。

【発行元】東京ガス株式会社
〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20